

令和9年度（令和8年度実施）長崎県公立学校教員採用選考試験 変更点について

令和9年度（令和8年度実施）教員採用選考試験の変更点についてご確認ください。

変更点1 全国オンライン試験※における日程及び申請要件の変更について

※小学校及び中学校の本免（国公立学校本務教員に関する免除申請）申請者で、第2次試験のオンライン受験を希望する者が対象

R8 (R7 実施)	R9 (R8 実施)
○申請期間及び試験日 1回目 【試験日】 令和7年6月28日(土)実施 【募集期間】 令和7年2月14日(金)～3月21日(金) 2回目 【試験日】 令和7年8月30日(土)実施 【募集期間】 令和7年6月30日(月)～7月24日(木) ○申請要件 他自治体の国公立学校本務教員で、受験する校種・職、教科・科目と同一の本務教員経験を2年以上有すること。	○申請期間及び試験日 【試験日】 令和8年8月29日(土)実施 【募集期間】 令和8年2月中旬～7月31日(金) ○申請要件 長崎県外の国公立学校本務教員で、本務教員経験を2年以上有すること。 ただし、 1) 小学校教諭については、 小学校教諭に限らず、中学校教諭又は特別支援学校教諭で、小学校教諭の普通免許状を有する者 2) 中学校教諭については、 中学校教諭に限らず、小学校教諭又は高等学校教諭又は特別支援学校教諭で、中学校教諭当該教科の普通免許状を有する者

変更点2 中学校保健体育教諭の第2志望枠の新設について

《新 設》	
対象	改善内容
<u>中学校教諭</u> (保健体育)	中学校保健体育教諭志願者は、小学校教諭（体育専科）を第2希望として選択することができる。ただし、小学校教諭普通免許状の所有は問わない。 ・第1次試験不合格者の中で、成績優秀の者を小学校（体育専科）第2次試験の受験対象者とする。 ・第2次試験不合格者の中で、成績優秀の者を小学校（体育専科）第2次試験合格とする。 ※なお、小学校体育専科合格者は、地域のクラブ等の指導等に携わることもできる。

変更点3	特別支援学校教諭の受験資格について
------	-------------------

R8 (R7 実施)	R9 (R8 実施)
特別支援学校教諭については、志願する部に対応する校種・教科の教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状の両方を有する者又は受験年度末までに取得見込みの者。	特別支援学校教諭については、志願する部に対応する校種・教科の教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状の両方を有する者又は受験年度末までに取得見込みの者。 <u>ただし、特別支援学校教諭普通免許状を有しない者は、採用後に原則3年以内の取得を前提として受験を認める。</u>

変更点4	大学推薦特別採用選考における推薦要件の変更について
------	---------------------------

対象	R8 (R7 実施)	R9 (R8 実施)
小学校教諭 中学校教諭	所属の大学が推薦指定校であるかを大学担当者に確認の上、手続きをすること。 ○選考上の特別措置（全校種） 1次試験全免除。中学校教諭（技術・家庭）については、第2次試験の実技試験も免除。	<u>【小学校教諭及び中学校教諭】</u> <u>長崎県を第一希望とし、かつ出願時までのGPAが3.0以上である者（特に推薦指定校を設けない）</u> <u>【高等学校教諭及び特別支援学校教諭】</u> 所属の大学が推薦指定校であるかを大学担当者に確認の上、手続きをすること。 ○選考上の特別措置（全校種） 1次試験全免除。中学校教諭（技術・家庭）については、第2次試験の実技試験も免除。

変更点5	大学推薦特別採用選考における対象教科の追加について
------	---------------------------

対象	R8 (R7 実施)	R9 (R8 実施)
高等学校教諭	○対象教科・科目 国語、世界史、日本史、地理、公民、数学、物理、化学、生物、地学、英語、家庭、情報、工業（機械、電気、建築、土木、工業化学）、商業 ○選考上の特別措置 1次試験全免除	○対象教科・科目 国語、世界史、日本史、地理、公民、数学、物理、化学、生物、地学、英語、家庭、情報、工業（機械、電気、建築、土木、工業化学）、商業、 <u>農業</u> ○選考上の特別措置 1次試験全免除

変更点6	大学推薦特別採用選考における「小中連携推進枠」の新設について
------	--------------------------------

《新 設》	
対象	改善内容
<u>小学校教諭</u> <u>中学校教諭</u>	○申請要件 1) 小学校及び中学校教諭(音楽・美術・技術・家庭)の両方の普通免許状を取得又は取得見込みの者 2) 小・中両方の免許を有する強みを生かし、同一地区内の小・中学校の校種を越えた異動により、地区内の特色ある教育に貢献したいとの意欲のある者 ○申請方法 「大学の推薦書」及び「本人申請書」の提出 ○採用予定者数 小学校教諭の採用予定者数に含める ○選考上の特別措置 1次試験全免除

変更点7	離島教育特別採用選考における採用予定者数等の変更について
------	------------------------------

対象	R8(R7 実施)	R9(R8 実施)
小学校教諭	○申請要件 採用時を含めて通算して10年、原則同一離島市町に勤務できる者。 ○採用予定者数:4名 ○申請手続き 電子申請の際に、「離島教育特別採用選考申請書」を添付書類として送信すること。なお、大学や大学院等において、「複式教育論」「小規模教育論」など離島教育に関する科目の単位を取得している者は、「単位取得証明書」等を添付することにより、「離島教育特別採用選考申請書」を送信しなくてもよいものとする。	○申請要件 採用時を含めて通算して10年、原則同一離島市町に勤務できる者。 ○採用予定者数:<u>10名</u> ○申請手続き 電子申請の際に、「<u>離島教育特別採用希望の有無</u>」の項目において「<u>希望有り</u>」を選択して出願する。 ○加点要件 これまでどおり、離島教育特別採用を希望する者のうち、大学や大学院等において、「複式教育論」「小規模教育論」など離島教育に関する科目の単位を取得している者は、「単位取得証明書」等を提出することで加点される。 ○採用時審査 <u>合格者のうち、離島教育特別採用希望者の上位10名程度を離島教育特別採用枠での合格者とする。</u>

変更点8	理数教育特別採用選考の新設について
------	-------------------

《新規》	
対象	改善内容
高等学校教諭 (数学・理科)	○申請要件 数学又は理科(物理・化学・生物・地学)に関する博士号(専攻分野は問わない)を有する者。 なお、高等学校教諭(数学・理科)普通免許状を有しない者も出願できる。(特別免許状による採用) ○選考上の特別措置 1次試験全免除

変更点9	英語ネイティブスピーカー特別採用選考の新設について
------	---------------------------

《新規》	
対象	改善内容
高等学校教諭 (英語)	○申請要件 次の1)～5)のすべてを満たす者 1)日本国内に在留資格を有する者(永住者も含む) 2)海外の大学を卒業し、学士以上の学位を有する者(教員免許状の所有の有無は問わない、特別免許状による採用) 3)英語を母国語又は公用語とする者 4)教員業務を行ううえで十分な日本語能力を有する者(日本語能力検定等の資格は問わない) 5)学校教育法第1条に規定する日本国内の学校において、教諭・講師(常勤又は非常勤)・ALTのいずれかの職名で教科に関する授業に携わった経験が、指定期間に2年以上ある者 ○選考上の特別措置 1)1次試験全免除 2)2次試験における面接は、すべて日本語で行う

変更点10	理学療法士等有資格者特別採用選考における変更について
-------	----------------------------

R8(R7 実施)	R9(R8 実施)
採用予定者数は、1名程度とする。	県内の特別支援学校自立活動教諭配置状況をもとに、その年度の募集の有無及び対象とする職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)を、年度ごとに決定する。

変更点Ⅱ	特定教科(情報)特別採用選考における申請項目の追加について
------	-------------------------------

R8 (R7 実施)	R9 (R8 実施)				
○申請要件 次の(1)～(3)の全てを満たす者。 (1) 大学又は大学院(短期大学を除く)を卒業(修了)し、学士以上の学位を取得している者。 (2) 平成21年度春期からの試験制度で、下記の試験のいずれかの合格者、あるいは、下記のいずれかの資格に相当する研究により、修士又は博士号を取得している者(令和8年3月31日までに取得見込みでも可)。 ①基本情報技術者 ②応用情報技術者 ③ITストラテジスト ④システムアーキテクト ⑤プロジェクトマネージャ ⑥ネットワークスペシャリスト ⑦データベーススペシャリスト ⑧インベデットシステムスペシャリスト ⑨ITサービスマネージャ ⑩システム監査技術者 ⑪情報処理安全確保支援士 (3) 民間企業、大学・研究機関等において、情報システムの研究、開発・保守・運用等に従事し、出願時までに通算3年以上の勤務経験を有する者。 ○選考上の特別措置 Ⅰ次試験全免除	○申請要件 平成21年度春期からの試験制度で、下記の試験のいずれかの合格者又は下記のいずれかの資格に相当する研究により修士又は博士号を取得している者(令和9年3月31日までに取得見込みでも可)で、次の(1)又は(2)を満たす者。 ①基本情報技術者 ②応用情報技術者 ③ITストラテジスト ④システムアーキテクト ⑤プロジェクトマネージャ ⑥ネットワークスペシャリスト ⑦データベーススペシャリスト ⑧インベデットシステムスペシャリスト ⑨ITサービスマネージャ ⑩システム監査技術者 ⑪情報処理安全確保支援士 (1) 次の i) 及び ii) をすべて満たす者。 i) 大学又は大学院(短期大学を除く)を卒業(修了)し、学士以上の学位を取得している者。 ii) 民間企業、大学・研究機関等において、情報システムの研究、開発・保守・運用等に従事し、出願時までに通算3年以上の勤務経験を有する者。 (2) 大学又は大学院において(科目等履修生を含む)、「教育の基礎的理解に関する科目」や「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を5単位以上取得又は令和9年3月31日までに取得見込みで、かつ情報の技能を活用して学校現場における2週間程度の情報教育インターンシップ(授業、特別活動などの実践経験)等を令和8年12月末までに終了している者。 ○選考上の特別措置 <table border="1"> <tr> <td>(1)</td><td>Ⅰ次試験全免除</td></tr> <tr> <td>(2)</td><td>Ⅰ次試験教職教養免除</td></tr> </table>	(1)	Ⅰ次試験全免除	(2)	Ⅰ次試験教職教養免除
(1)	Ⅰ次試験全免除				
(2)	Ⅰ次試験教職教養免除				

変更点12	特別免許状の取得を前提に出願できる校種・教科の追加について
-------	-------------------------------

《新規》	
対象	改善内容
<u>高等学校教諭</u> <u>(保健体育)</u>	<u><出願資格></u> <u>指定時期までに、次の(1)及び(2)の両方を満たす者。</u> <u>(1) 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として</u> <u>出場した者。</u> <u>(2) 勤務した学校又は企業等から社会的信望、教員の職務を行うのに必</u> <u>要な熱意と識見を有することを確認できる 1 通の推薦状が提出できる者。</u>